

# シアトル別院時報

45巻3月号

2026年度 BCA 教化標語

すべての つなかりに 気づく



今月のご法話

ヒロシマ、ナガサキ原爆80年

輪番 楠 活也



2025年、広島、長崎に原爆が投下されて80年の年でした。この機会にシアトル広島クラブと協力し、シアトルにご縁のある被爆者の方々の体験記をご紹介します。約80年前に起こった悲劇を学び、みなさんと平和について考えさせていただきたいと思います。インタビューのビデオは、シアトル広島クラブのYouTubeでご覧いただけます。

## ヒロシマ原爆体験記—タケタ ハルソ（当時13歳）

1939年、ハルソさんは、父のシカオさんと共に日本へ帰国しました。しかし、シカオさんはハルソさんを日本へ残し、アメリカへ戻りました。

私は一人ぼっちでした。ですが、生きていかなければいけません。9歳にして、農業をして働くことになりました。一頭の見た目のかっこいいオスの牛を購入し、農地に肥料を与え、肥沃な土地にする仕事をしていました。9歳で、動物を使って農作業をする子供は他にいませんでした。農業をするのに日本語を話す必要はありませんでした。その牛は、扱いがとても難しい牛だったので、別の牛に取り換えることにしました。道を歩いているだけでも、脇へそれて、すぐに草を食べたりしました。

広島に神石郡という、牛を売り買いできることで有名な場所がありました。そのオス牛を連れていき、別のメス牛と交換しました。そのメス牛は、オス牛とは真逆で、扱いやすい素直な牛でした。そのメス牛は、元来、牛車を引くために育てられた牛でしたが、農作業にもちょうどよい牛でした。数年後、そのオス牛は、屠殺場へ連れていかれる途中、男の人を殺してしまいました。先に交換しておいて、よかったです。

私たちは、広島街から北北東の方角に14キロメートル離れたところに住んでいました。1945年

## 3月のカレンダー

日曜法要ユーチューブ同時配信あります

- 1日（日）10時 キャンプファイア日曜法要
- 3日（火）9時半 日本語法座 zoom
- 5日（木）1時半 日系マナー法要
- 8日（日）10時 日曜法要
- 10日（火）9時半 日本語法座 zoom
- 15日（日）10時 春のお彼岸法要  
ご法話 マーク・ブラム博士  
10時50分 ゲストレクチャー  
マーク・ブラム博士 UCバークレー
- 17日（火）9時半 日本語法座 zoom
- 19日（木）1時半 日系マナー法要
- 19日、20日 輪番 不在 旅行中
- 22日（日）10時 日曜法要
- 24日（火）9時半 日本語法座 zoom
- 25日（水）1時 メリル・ガーデン法要
- 29日（日）10時 スカラシップ日曜法要
- 31日（火）9時半 日本語法座 zoom

月曜日 楠輪番 休み

事務所休み 水曜日&土曜日

8月6日の朝、私は、午前8時半か9時ごろに奉仕活動に行く予定になっていました。しかし、ラジオで敵機が広島に来襲したというニュースを聞いたので、外に行き空を眺めていました。敵機は、はるか上空を飛んでいました。白い飛行機雲が空に浮かび、混ざっていました。そのあたりをジッと見ていました。街の上空に目をやると、何か光っているような物体が浮かび、落ちてきていました。その時は、当然、それが何かわかりませんでしたので、そのまま見ていました。すると突然、閃光が、強烈な閃光が発せられました。瞬時に目を閉じ、少しして、また目を開き、また、上空を見上げました。そこには、爆発によってできたもくもくと広がる白い雲がありました。なにか、波打ち際に押し寄せるサーフィンのように迫ってきました。おおよそ、38秒後です。音は一秒間で1090フィートの速さで広がっていくので、38秒という計算になります。閃光を見て、38秒後、ものすごい爆音を聞きました。白い煙の中に、赤みがかかったピンク色のキノコ雲も見ました。それは、今、本や映画などで見るようなきれいなものではなく、なにかかき混ぜられたようになっていました。広島は燃えていたので、数時間後には、黒い煙がモクモクと現れました。広島市内の家や建物は、爆弾によって破壊され、街中が火の海でした。その煙はどんどん上へあがって行ってしまいました。そして、数時間後、紙や木綿などの軽いものが空から降ってきました。煙によってあたりは暗くなりました。

はっきりと何時ごろかは覚えていませんが、おそらく正午ごろであったと思います。そういうゴミやチリが空から降ってきて、その後、黒い雨が降り始めました。田んぼの稲も黒い雨で真っ黒になりました。何が起こったのか、何もわかりません。三日後くらいでしょうか、火傷した被爆者の人たちを見ました。顔の片側が焼け、耳が完全に焼けただれている人、体にやけどを負っている人などがいました。

原爆が落とされる前は、みんな頭や顔を守る防空頭巾をかぶっていました。しかし、一度、敵機は飛び去り、空襲警報が解除されたので、みんな防空頭巾を外してしまっていました。それが原因で、みんな火傷やケガを負ってしまったのです。防空頭巾を被っていれば防げたケガや火傷もあったでしょう。

私の同級生が、原爆の3～4日後に帰ってきました。外傷はそれほどひどくなかったようですが、放射線にやられていました。髪の毛がすべて抜けてしまい、舌が溶け始めていました。それは、悲惨な症状でした。彼は何とか生き残りました。体調が回復するまでには2～3年くらいかかったと思います。1960年までは、彼は生きていましたが、連絡先が分からなくなったので、その後の事はわかりません。多くの被爆者が10～15年くらいまでに亡くなっていました。

私にはいとこがいました。原爆の後、私の叔母は彼を捜すために避難所へ行きました。叔母さんもその避難所の場所を知っていたようです。初日、二日目は、見つけることができませんでした。三日目、集会所あたりで彼を見つけました。ひどく火傷やケガを負っていて、そこに横たえられていました。彼を運ぶリアカーや車のようなものはありませんでしたので、叔母は、彼を背中に背負って祇園まで帰ってきました。3マイルくらいはあったかと思います。子どもを背負って歩くには、とても長い距離です。

橋は落ち、通れない道もありましたので、叔母は回り道をしなければなりません。どれくらいかかって家へたどり着いたのかはわかりません。私のいとこは、三日間は持ちこたえましたが、悲しいことに、亡くなってしまいました。彼の年齢は、13歳と半年、当時の私と同じ年でした。彼の父親が家へ帰ってきたとき、叔母さんは自分たちの息子の死を父親へ告げました。父親は、息子の死を嘆き悲しみ、大声で泣きました。その声は、近所の人たちもみんな聞こえていました。とても悲しくつらい時間でした。

いつかこの恐ろしい爆弾が、間違ったものの手に渡り、再び使用されるのではないかと心配でなりません。今の水素爆弾は、広島原爆よりも2000倍もの破壊力があります。とても恐ろしいです。どこにも落とされてほしくありません。若い人たちに言いたい。そのいのちを楽しく、思慮深く、明るい望みをもって生きてください。私は、もう先があまり長くありませんから、そんなに気にすることもないのですが。

日本語のメール・アドレス。 [seattlebetsuin.nihongo@gmail.com](mailto:seattlebetsuin.nihongo@gmail.com)

- シアトル別院の修復工事が終わりに近づいております。お葬式などのご相談は事務所までご連絡ください。また事務所にご用の方は電話かメールで予約をおとりください。
- 日曜法要及び別院の活動・イベントは場所をお確かめください。
- 祥月法要のお名前とご寄付のお名前が毎月英語面に掲載されます。

<https://seattlebetsuin.org/newsletter>

## 4月のカレンダー

5日	花まつり法要
20日	アースデー・音楽法要
27日	恵信尼公・覚信尼公追悼法要



### 会長の挨拶

タイラー森口 シアトル別院理事会長

“Old friends become new teachers.” – Rev. JP De Guzman  
「古き友人は新しい先生となる」JP デ ゴズマン師

最初に、お疲れ様でした。西北部仏教徒大会・米国仏教団総会にボランティアされた方々、参加された方々に感謝します。共同会長を務めたマレッサとアレックスには何年にもわたる計画・準備をしてもらいました。そして西北部の仏教会の方々のおかげでイベントは好評でした。

2月7日の米国仏教団の一般へのウォークショップ、サンタ・バーバラとサン・ファルナンドー仏教会のミニスターアシスタント、JP デ ゴズマン師はサンガを増やすということでお話しされました。ウォークショップで師は私と同じ思いを話されました。

私たちは全員が得度しているわけではありませんが、私たちは友人、家族、知り合いにお釈迦さまの教えを守る生活を伝えられます。

お寺の再開時には多くの新旧の方々をお迎えします。修復後のお寺を興味深く見るビジターがおられます。この機会に私たちは皆様を歓迎しサンガになられたような気持ちになってもらいましょう。メンバーの方々がビジターを歓迎し、インクルーシブな場所となる様にしましょう。

感謝の気持ちを込めて、タイラー

### 2月ボランティア サンキュー

西北部仏教徒大会・米国仏教団総会：共同会長 マリッサ・ウォングとアレックス坂本

### 2月7日のお寺の掃除ワーク・パーティー

ギャリー柴田、グレース田妻、グレッグ中嶋、ディーン・オーシールド、アンドレア真野、ヘンリー渡辺、コーリー村田、スティーブ久保田。

<https://www.youtube.com/watch?v=X0AIFLUFsLc>

ユーチューブ パシフィック・ウィンター・日本語・セミナー

## ダーマスクール

イベット寺田、クレア村田

2月は忙しい月でした、特にアレックスとマリッサにとって。二人には心から感謝します、米国仏教団総会と西北部仏教徒大会のコーチアとして活躍されました。そして多くの方がサポートし大会は好評でした。ダーマスクール・Jr.YBAは多くの生徒に大会への補助金を出せる様に努力しました。

大会では生徒は「ボンブ・ストーリーズ」ウォークショプに参加、またマツト・メイ先生とローザリー先生の「お念珠作り」に参加、サンキュー！生徒は「*Buddha Loves You*」の歌詞を自分たちで加えました。またビーニー・ベイビーをアダプトし持ち帰りました。大人の参加者にも追加の歌詞を書いてもらいビーニー・ベイビーをアダプトしました。総長原田がもっているのを見かけた方もおられると思います。そのほかにはバレンタインデー・カード作り、スナック、塗り絵、ゲームを新しいお友達と今までのお友達で楽しみました。

涅槃会法要に出席して来年から涅槃会ポットラックをまた始めたいと思いました。ダーマスクールでは花祭り法要での新しい花見堂のデコレーションをヘルプしています。折り紙で花を作る手伝い出来る方はキャシーに連絡ください。 合掌、

## ミュージック・ノート

ケミ中林

楠先生と私はシアトル別院からの代表と共にBCA米国仏教団総会に出席、西北部仏教徒大会開催中ウォークショプも開かれていました。2月22日のダーマ・エクスチェンジではウォークショプについて話し合いました。大会のテーマは「Renewal: Jodo Shinshu for Today、再生～今を生きるための浄土真宗～」では音楽が色々なところで使われました。新しい曲も含まれBCAの音楽部の努力が見えました。

BCA米国仏教団総会では音楽部からのリポートは西北部に来られたことを歓迎し、音楽部は2020年の西北部大会でマービン原田総長と会長であったケント松田が西北部に音楽部を作ることを頼まれました。BCAの「Wheel of Dharma」4月号にもっと詳しく載ります。

アレックス坂本とマリッサ・ウオングが大会のチェアでしたが、ジェシー・モニハンとディーン・オシールド（大会のウォークショプ）イベット寺田とクレア村田（DSプログラム）でした。法要の前の音楽はエスター須貝とヒュー森口でした。ドーナトリサ・オーピラがガーサ（Hear and Now）を演奏し、新しいガーサをおしえました。ボンブ・ストーリーズがユースのウォークショプで「ランタン・ソング・アンプラグ」と題しクラフトでランタンのタッソルを作り、ボンブ・ソングの踊りを教えました。この様なクリエイティブなアーティストが将来の大会の晩餐会でオリジナルなガーサを伝えていきます。西北部民謡会が「炭坑節」をリードし晩餐会を盛り上げました。



多くの大会参加者が若い世代の活躍と多くの音楽が使われていたことへの感想を受けました。BCAの永代経法要、シアトル別院の中高校生による楽器と歌唱で「Light of Wisdom」を披露し大変感動しました。永代経法要でのミニスターの先生方の入場では雅楽を小山忠雄先生とカイラ・バトラー、エスター須貝、デニス山下が古本竜太先生、パム松岡、イディス・バツソルのサポートのもと演奏しました。イディスは鞆鼓（かっこ）を演奏しました。

2月13日夜には朝倉行宣（あさくら ぎょうせん）師のテクノ法要が原田総長とBCAのアレンジで開催が可能となり、大会が今回のUSツアーの最初のストップでした。

[Techno Hoyo US Tour | BCA](#)

ウクレレの練習は9時15分より、3月15日と29日にあります。参加希望の方はアン・オックスライダーまで知らせてください。ズームの「シング、ストラム、シェア」は第一月曜日、3月2日7時より。ズーム参加希望は別院事務所まで連絡ください。



写真：左より テクノ法要、ドーナ佐々木、炭坑節 上：ボンブ・ストーリーズ

## 別院日本ツアー

別院創立 125 周年記念 11月24日—12月7日  
 横浜、名古屋、伊勢、京都、大阪、長崎  
 別院メンバーと家族 ツアーに関する詳細は事務所まで。

## 別院維持会会費

別院維持会費はお寺の維持・運営の経費になります。また運営とプログラムの経費になります。

2026 年度の会費を納められた方々に感謝します。

Kazumi (Janice) Gosho, Grace Ichikawa, Chiaki Ito-Schomer, Kevin Nagai, Jim Norton & Kemi Nakabayashi, Sanaye (Sunnie), Craig & Dana Nakashima, Kevin Tanemura, Kayoko Terada, Senoe Torgerson, Arlene Yamada.

新入会員 Senoe Torgerson を歓迎します。



## スカウト 252

スカウトツループ 252 は2月を忙しく過ごしました、スカウトサンデー法要と二世ベテラン・感謝のランチ。そして州会議事堂で「デイ・オブ・リメンバランス」のセレモニーに参加。スカウトサンデー法要では多くのスカウトメンバーが法要に参加しました。



## 婦人会便り

アイリーン田辺

### 別院婦人会の活動基本方針（ミッション・ステートメント）

浄土真宗に基づく仏教徒としての認識を高め、会員の親交を促進すること：シアトル別院を支え、支援し、地域社会に貢献する：

#### 2026年婦人会役員

共同会長：ティナ・コー、スージー山根  
共同副会長：スージー竹田、ローリー小財  
共同記録書記：スザン藤成、アンドレア真野  
通信書記：アイリーン田辺  
会計：デビー柴田  
会計監査：ノリ中村、ジャン・ケルトラー



2月8日には婦人会の九条武子夫人・大谷大谷壽子お裏方 追悼法要がデンショーで執り行われました。ゲストスピーカーのローザリー・メイ先生には素晴らしいご法話をいただきました。その後は対面とZoomで別院婦人会総会が開かれました。4月の新入会員歓迎ランチが待ちどおしいです。

写真は西北部仏教徒大会より婦人会メンバーとお寺のメンバー



左：晚餐会、右：小山先生ご夫妻とメンバー、



左：晚餐会 右：ホスピタリティーのメンバー

3月15日 11時—1時 ゲストレクチャー マーク・ブラム博士 UCバークレー  
シアトル別院にて

鎌倉時代に浄土真宗が如何に念仏が唯一の信仰になったのか等。  
参加は無料ですがご寄付はありがたくいただきます。

[More Info](#)

Seattle Betsuin Buddhist Temple  
2025-2026 LECTURE SERIES

MAR  
15  
Sunday

Seattle Buddhist Temple  
11:00-1:00pm



Dr. Mark Blum  
Buddhist Studies  
UC Berkeley

**What Makes Nenbutsu so pervasive, so persuasive?**

Learn how the nenbutsu became an object of worship in medieval Shin Buddhism. Why was language seen as a more attractive sacred object than a statue? Dr. Blum will discuss the history of a movement in the 14th and 15th centuries to replace a statue of Amida on the temple altar with a painting of Nenbutsu configured to look like Amida with two bodhisattvas.

This is a free event, but donations are gratefully accepted.

 SEATTLE BUDDHIST TEMPLE • 1427 S. Main, Seattle, WA 98144  
<https://seattlebetsuin.org/>